

外郭団体の評価に係る基本調書

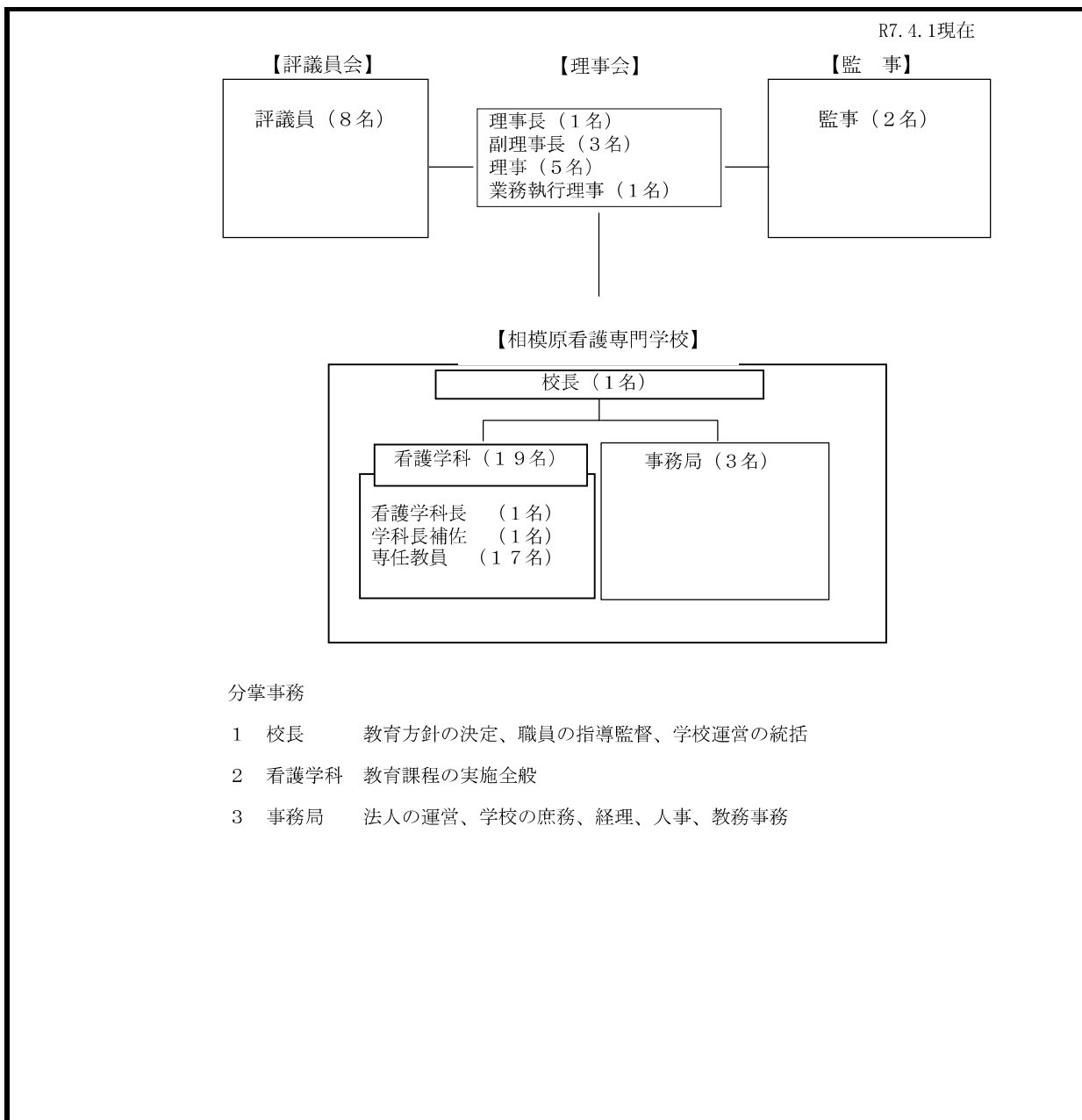
<団体の概要>

団体名	公益財団法人相模原市健康福祉財団							
所在地	相模原市南区新磯野4丁目1番1号							
設立根拠	公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律							
設立年月日	平成22年4月1日 一般財団法人相模原市健康福祉財団設立 平成23年2月10日 公益財団法人に移行し公益財団法人相模原市健康福祉財団に改称							
設立者	相模原市							
市所管課	健康福祉局 保健衛生部 医療政策課							
基本財産	市の出資額	1,490	千円	主 な 出 資 者 市 以 外 の	名称	出資額(千円)	出資率	
	3,000		千円		出資率	49.7	%	一般社団法人相模原市医師会
					公益社団法人相模原市病院協会	500	16.7%	
設立目的	相模原市、一般社団法人相模原市医師会、公益社団法人相模原市病院協会及び公益社団法人神奈川県看護協会との提携及び協調のもとに、看護師その他の医療従事者の養成及び研修に関する事業を行うことにより、相模原市の医療供給体制の充実を図り、もって市民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。							
事業内容	1 この法人の設立に係る相模原看護専門学校の管理及び運営並びに保健医療福祉の教育に関する事業 2 その他この法人の目的を達成するために必要な事業							

<人員配置>

役員	人数	常勤理事	0	非常勤理事	10	常勤監事	0	非常勤監事	2	
	内市退職職員数	常勤理事	0	非常勤理事	0	常勤監事	0	非常勤監事	0	
	任期	理事は2年、監事は2年								
	常勤役員平均報酬	-								
評議員	人数	評議員	8							
	内市退職職員数	評議員	0							
	任期	4年								
職員	人数	令和6年度	正規職員	23	他法人等からの派遣職員	0	嘱託職員	2	合計	25
		令和5年度	正規職員	23	他法人等からの派遣職員	0	嘱託職員	3	合計	26
		令和4年度	正規職員	23	他法人等からの派遣職員	0	嘱託職員	2	合計	25
	給与体系	市準拠								
	正規職員平均給料	4,050千円				正規職員平均手当	2,786千円			
	正規職員平均年齢	49.6歳								
	正規職員年齢構成	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60~65歳	66歳以上		
		人	人	2人	11人	7人	3人	人		
	正規職員役職構成	係員級	係長級	課長補佐級	課長級	参事級	部長級			
		17人	1人	1人	3人	0人	1人			
採用方法	公募、就職斡旋による採用(令和6年度2人)									

<組織及び分掌事務>



<人材育成>

研修	実施回数	令和6年度	18	令和5年度	26	令和4年度	23
	受講人数	令和6年度	25	令和5年度	33	令和4年度	25
	主な研修の名称	日本看護学校協議会研修 ほか					
職員評価	評価制度の有無	無					
	評価の主な視点						
その他	その他実施していること	教職員1人当たり10万円の予算枠を確保し、学会などの研修に参加して資質向上に取り組んでいる。					

<情報発信>

情報紙	発行の有無	無					
	名称						
	発行部数	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	主な掲載内容						
	ターゲット層						
ホームページ	開設の有無	有					
	主な掲載内容	相模原看護専門学校の学校情報、入試案内及び法人概要等					
	ターゲット層	看護師国家試験資格取得希望者					
	URL	https://snvs.ac.jp/					
SNS	開設の有無	有					
	開設しているSNS	LINE@					
	主な掲載内容	相模原看護専門学校の学校情報及びオープンキャンパス開催案内					
	ターゲット層	看護師国家試験資格取得希望者					
その他	その他実施していること	高校での進路説明会への参加、地域でのイベント（ふるさとまつり等）への参加 自治会掲示板の活用					

<保有施設の状況>

施設の保有の有無	無
----------	---

<経営計画>

計画の策定	有
計画の名称	相模原市健康福祉財団第3次中期経営計画
計画期間	令和5年度～9年度
団体の役割・使命	相模原市の医療供給体制の充実を図り、もって市民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。
団体の将来あるべき姿	地域医療・福祉への貢献に向けた更なる5年～質の高い看護師養成所であり続けるために～
主な内容	1 ヒューマンケアの視点に立った看護実践能力の向上 2 受験者の確保と市内就職の促進 3 安定した財団経営

<主な実施事業>

事業名称	相模原看護専門学校の管理及び運営		
区分	公益	自主	
確定事業費(千円)	298,846千円		
事業説明	内容	看護師の養成(3年課程 各学年80名 総定員240名)	
	成果	看護師国家試験合格者68名(合格率97.1%) 医療機関就職者68名(うち市内就職者65名) 市内就職率 95.6%	
	課題	国家試験全員合格に向けた取り組み。 収支相償に向けた収益の確保。	

<団体運営に対する考え方>

外郭団体としての必要性、役割	
神奈川県相模原地域の地域医療構想において、将来不足すると見込まれる病床機能の確保・連携をはじめ、在宅医療などを担う医療従事者の人材確保・養成などの役割を担うことであると考えている。	
公益的使命の達成について	
○現状と将来のあるべき姿	
将来的にも、訪問看護や地域包括支援センター等地域医療の分野での看護師の活躍が期待されており、市内唯一の看護専門学校である本校の使命として、地域で活躍する質の高い看護師人材の育成を行っていく。	
○今後の取組	
団体	地域医療を支える人材(看護師)の養成を継続するとともに、さらに地域との連携を深め、地域に貢献できる学校運営を行っていく。
所管課	卒業生の市内就職率を80パーセント以上を維持する取り組みを含め、地域の医療従事者の人材確保・養成などの役割を果たしている。市民の保健医療の向上を図るため、継続して財団の支援を行う。
事業の再整理・重点化について	
○現状と将来のあるべき姿	
今後も、地域で活躍できる看護師の養成を継続的に行っていく。	
○今後の取組	
団体	少子化や大学志向から、受験者の確保が年々厳しくなっており、広報活動の推進や社会人の積極的受け入れ等により、引き続き確保に努めていく。
所管課	財団と連携を図り、第3次中期経営計画(2023~2027年度)に基づいた事業の点検・評価及を行うことで事業の整理と重点化を図る。

組織について	
○現状と将来のあるべき姿	
平成23年度に市医師会から本財団に学校運営が移行された経緯を踏まえ、安定的、継続的な運営を行っていく。	
○今後の取組	
団体	学校の安定的な運営を持続可能なものとするため、組織体制を維持するとともに財団の財政健全化を図ることを目指す。
所管課	組織の基礎となる教員の確保・定着化及び事務局体制の充実のため、財団の自主性・自立性を十分に配慮した上で、人材の育成・確保等について適切な指導を行う。
財政状況の改善について	
○現状と将来のあるべき姿	
人件費や設備費等の増加により、2年連続で赤字決算となったため、令和6年度から学費を改定し、収益改善を図るとともに、経費削減を進めていく。	
○今後の取組	
団体	収入の面では、授業料等の改定により、今後3年間収益は増加する見込みであり、支出の面では、経常経費の削減等により、財政状況の改善に取り組むものとする。
所管課	財団経営を安定的に進めていくため、経費削減の推進と、授業料改定などの収益改善を促進して財政安定化を図る。

<今後の方向性>

経営上の課題	団体	校舎（旧磯野台小学校）については、竣工後40年以上が経過しており、修繕等を計画的に行うため市と協議を進める必要がある。学校経営を事業とする本財団においては、経費に占める人件費の割合が高いが、優秀な教員を確保するためには必要不可欠であり、将来を展望した計画的な財政運営を行うことが重要である。
	所管課	校舎（旧磯野台小学校）は竣工後40年以上が経過しており、付帯設備は老朽化が進んでいる。今後は、修繕等を計画的に進め、実施にあたっては、市と財団で負担の在り方等について協議を進めていく必要がある。 人件費の適正化については、建議書では知見のある者の登用や財団独自の給与体系の構築について示されているが、双方の両立は相反するため、財団の安定的な運営を確認しながら検討していく。
今後の取組	団体	学費の改定による収益の確保 高校等への積極的なPR活動による志望者の確保 地域との連携を進め、地域に親しまれる学校づくりの推進 計画的な修繕に向けた市との協議
	所管課	第3次中期経営計画（2023～2027年度）に基づいた事業の点検・評価を行うとともに、安定的な運営ができるよう適切な補助を行う。

外郭団体改革推進計画の進行管理シート

団体名	公益財団法人相模原市健康福祉財団
-----	------------------

改革の方向性	外郭団体としての意義や使命を検証した上で、役割や機能を再整理し、団体の在り方を検討する
	引き続き経営効率化に取り組む
	更なる事業展開に取り組む
	<p>◎市内の医療提供体制の更なる充実という財団の設立趣旨と現状を踏まえたうえで、市が団体に求めることや、団体の果たすべき役割、機能を明確にし、公益財団法人としての在り方を検討する。</p> <p>◎市内の医療供給体制の更なる充実に向け、卒業生の市内就職の促進に努めるとともに、定着支援を行う。また、看護師以外の医療従事者を養成することについての考え方を整理する。</p> <p>◎学校運営に知見のある者の役員への登用及び受験生の確保に向け知見のある者の採用など、今後の体制について検討する。</p> <p>◎市から借用し、校舎として利用している旧磯野台小学校の今後の修繕について市と議論を進めるとともに、特定資産として保有している校舎大規模修繕事業準備資金の活用方策について検討する。</p> <p>◎人件費増加の要因を分析し、独自の給与体系について検討するとともに、収益の確保、経費節減に取り組み、安定した財団経営を推進する。また、市は団体の決算や財政推計に鑑み、補助金の額について精査する。</p>

取組項目	団体の役割や機能の再整理・公益財団法人としての在り方の検討			
目標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	団体の役割や機能の再整理及び在り方の検討	団体の役割や機能の再整理及び在り方の決定	団体の在り方を踏まえた調整、準備	団体の在り方を踏まえた調整、準備
取組内容（市）	<ul style="list-style-type: none"> ・市が団体に求めることの整理 ・団体が担うべき役割や機能、事業の再整理 ・看護師以外の医療従事者の養成の考え方の整理 ・団体の在り方の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体が担うべき役割や機能、事業の再整理 ・看護師以外の医療従事者の養成の考え方の整理 ・団体の在り方の決定 	/	/
取組内容（団体）	<ul style="list-style-type: none"> ・役割や機能、事業の再整理 ・看護師以外の医療従事者の養成の考え方の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割や機能、事業の再整理 ・看護師以外の医療従事者の養成の考え方の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の在り方を踏まえた調整、準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の在り方を踏まえた調整、準備

実績（市）	看護師養成所を取り巻く状況が激変しており、状況を踏まえて検討を行った。			
取組内容実績（市）	今年度から全国的に看護師養成所への入学者が減じており、当該財団でも定員80名のところ68名の状況。一方で、市内医療機関の看護職に対する需要は依然高く、まずは看護師志望者を増やすことに注力していく。 看護師以外の養成については理学、作業療法士等が考えられるものの厚生労働省の需給調査では2019年時点で飽和状態にあり、2040年には供給過多（供給1.5倍）の推計がある中で看護職以外の医療従事者の養成は慎重に検討する必要がある。			
実績（団体）	看護師養成所を取り巻く状況が激変しており、状況を踏まえて検討を行った			
取組内容実績（団体）	・当面、人材不足が予想される看護師の養成に専念していく。			

取組項目	卒業生市内就職の促進（令和4年度 87.8%）			
目標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市内就職を条件とした入学試験区分の実施 市内医療機関等の採用動向の把握及び採用の働きかけ強化 採用動向把握のための懇談会等の開催 同窓会の強化と卒業生各人に応じた進路指導 	<ul style="list-style-type: none"> 市内就職を条件とした入学試験区分の実施 市内医療機関等の採用動向の把握及び採用の働きかけ強化 採用動向把握のための懇談会等の開催 同窓会の強化と卒業生各人に応じた進路指導 	<ul style="list-style-type: none"> 市内就職を条件とした入学試験区分の実施 市内医療機関等の採用動向の把握及び採用の働きかけ強化 採用動向把握のための懇談会等の開催 同窓会の強化と卒業生各人に応じた進路指導 	<ul style="list-style-type: none"> 市内就職を条件とした入学試験区分の実施 市内医療機関等の採用動向の把握及び採用の働きかけ強化 採用動向把握のための懇談会等の開催 同窓会の強化と卒業生各人に応じた進路指導
実績	95.70%			
取組内容実績	<ul style="list-style-type: none"> 市内就職を条件とした入学試験区分の実施 市内医療機関等による就職説明会の実施 学生への各病院のインターンシップ紹介 			

取組項目	受験志願者の確保（令和４年度 2.5倍）			
目標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	定員の3倍	定員の3倍	定員の3倍	定員の3倍
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高等教育の修学支援新制度対象校の認定継続 ・厚生労働省の教育訓練給付制度における講座指定の継続 ・特色あるオープンキャンパスの開催 ・社会情勢や受験状況に応じた入学試験方法等の見直しの検討 ・高校への出前講座、説明会及び情報交換の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・高等教育の修学支援新制度対象校の認定継続 ・厚生労働省の教育訓練給付制度における講座指定の継続 ・特色あるオープンキャンパスの開催 ・社会情勢や受験状況に応じた入学試験方法等の見直しの検討 ・高校への出前講座、説明会及び情報交換の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・高等教育の修学支援新制度対象校の認定継続 ・厚生労働省の教育訓練給付制度における講座指定の継続 ・特色あるオープンキャンパスの開催 ・社会情勢や受験状況に応じた入学試験方法等の見直しの検討 ・高校への出前講座、説明会及び情報交換の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・高等教育の修学支援新制度対象校の認定継続 ・厚生労働省の教育訓練給付制度における講座指定の継続 ・特色あるオープンキャンパスの開催 ・社会情勢や受験状況に応じた入学試験方法等の見直しの検討 ・高校への出前講座、説明会及び情報交換の充実
実績	1.2倍			
取組内容実績	<p>オープンキャンパス 18回 425名 高校訪問 10校 (指定校推薦者の獲得対策) 市民まつりでのPR</p> <p>目標値の変更：志望者の倍率3倍については、社会情勢を踏まえ、財団理事会等を通じて今年度中に変更する予定</p>			

取組項目	国家試験合格率の向上（令和4年度 95.9 %）			
目標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	100%	100%	100%	100%
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験対策の強化に向けた1年次からの対策、チューター制度及びポートフォリオの活用 ・国家試験出題基準を意識した臨地実習教育の充実 ・パソコン、スマートフォンアプリを活用した国家試験対策の推進 ・専門基礎分野を重点とした補習授業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験対策の強化に向けた1年次からの対策、チューター制度及びポートフォリオの活用 ・国家試験出題基準を意識した臨地実習教育の充実 ・パソコン、スマートフォンアプリを活用した国家試験対策の推進 ・専門基礎分野を重点とした補習授業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験対策の強化に向けた1年次からの対策、チューター制度及びポートフォリオの活用 ・国家試験出題基準を意識した臨地実習教育の充実 ・パソコン、スマートフォンアプリを活用した国家試験対策の推進 ・専門基礎分野を重点とした補習授業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験対策の強化に向けた1年次からの対策、チューター制度及びポートフォリオの活用 ・国家試験出題基準を意識した臨地実習教育の充実 ・パソコン、スマートフォンアプリを活用した国家試験対策の推進 ・専門基礎分野を重点とした補習授業の充実
実績	合格率97.1%			
取組内容実績	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験対策の強化に向けた1年次からの対策、チューター制度及びポートフォリオの活用 ・国家試験出題基準を意識した臨地実習教育の充実 ・パソコン、スマートフォンアプリを活用した国家試験対策の推進 ・専門基礎分野を重点とした補習授業の充実 			

取組項目	潜在看護師の復職支援の強化			
目標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	・復職支援事業への協力 ・同窓会を活用した復職支援	・復職支援事業への協力 ・同窓会を活用した復職支援	・復職支援事業への協力 ・同窓会を活用した復職支援	・復職支援事業への協力 ・同窓会を活用した復職支援
取組内容	・公益社団法人相模原市病院協会が主体となり実施している復職支援事業への協力 ・同窓会を活用した復職支援の実施	・公益社団法人相模原市病院協会が主体となり実施している復職支援事業への協力 ・同窓会を活用した復職支援の実施	・公益社団法人相模原市病院協会が主体となり実施している復職支援事業への協力 ・同窓会を活用した復職支援の実施	・公益社団法人相模原市病院協会が主体となり実施している復職支援事業への協力 ・同窓会を活用した復職支援の実施
実績	復職支援研修会の実施			
取組内容実績	復職支援研修会の実施 同窓会の活動支援			

取組項目	校舎修繕の取組及び校舎大規模修繕事業準備資金の活用方策の検討			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標	・校舎修繕計画及び校舎大規模修繕事業準備資金の活用方策の検討及び調整	・校舎修繕計画及び校舎大規模修繕事業準備資金の活用方策の検討及び調整	・校舎修繕計画の策定 ・校舎大規模修繕事業準備資金の活用方策の検討及び調整	・校舎修繕計画に基づく計画的な修繕の実施
取組内容	・校舎修繕計画の検討及び団体との協議、調整 ・校舎大規模修繕事業準備資金の活用方策の検討及び団体との協議、調整	・校舎修繕計画の検討及び団体との協議、調整 ・校舎大規模修繕事業準備資金の活用方策の検討及び団体との協議、調整	・校舎修繕計画の策定 ・校舎大規模修繕事業準備資金の活用方策の検討及び団体との協議、調整	・校舎修繕計画に基づく計画的な修繕の実施
取組内容	・校舎修繕計画の策定に係る市との協議、調整 ・校舎大規模修繕事業準備資金の活用方策の検討及び市との協議、調整	・校舎修繕計画の策定に係る市との協議、調整 ・校舎大規模修繕事業準備資金の活用方策の検討及び市との協議、調整	・校舎大規模修繕事業準備資金の活用方策の検討及び市との協議、調整	・校舎修繕計画に基づく市の計画的な修繕の実施を踏まえた校舎大規模修繕事業準備資金の活用
実績（市）	財団との協議、方向性の検討			
取組内容実績（市）	財団とは校舎躯体以外の設備更新にむけて協議を行っている。			
実績（団体）	・市との協議、方向性の検討			
取組内容実績（団体）	・市との協議、方向性の検討			

取組項目	団体独自の給与体系の検討			
目標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	団体独自の給与体系の検討	団体独自の給与体系の検討	団体独自の給与体系の検討	団体独自の給与体系の検討
取組内容	・人件費増加の要因分析 ・団体独自の給与体系の検討	・団体独自の給与体系の検討	・団体独自の給与体系の検討	・団体独自の給与体系の検討
実績	現在、一般的には急速に人件費が上昇している。市の給与体系に準じながら状況を注視している。			
取組内容実績	教育の質の向上には、教員に係る人件費の増加は必須であり、独自の給与体系の構築により人件費が増大する可能性を踏まえ見直しが必要と考える。			

取組項目	安定した財団経営の推進			
目標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	単年度収支 ▲12,101千円	単年度収支 ▲2,250千円	単年度収支 4,103千円	単年度収支 3,287千円
取組内容	・団体の財政状況等を踏まえた市補助金額の見直し	・団体の財政状況等を踏まえた市補助金額の見直し	・団体の財政状況等を踏まえた市補助金額の見直し	・団体の財政状況等を踏まえた市補助金額の見直し
実績	単年度収支 1,746千円（増）	・長期契約の締結などによる経費の削減	・長期契約の締結などによる経費の削減	・長期契約の締結などによる経費の削減
取組内容実績	学費の改定（増額） 消耗品・光熱水費等経常経費の削減			

外郭団体の財政状況調書（公益法人版）

団体名	公益財団法人相模原市健康福祉財団
-----	------------------

単位：千円

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
経常収益		319,618	307,567	301,332	294,404	304,026	
経常費用		303,372	296,879	316,558	300,766	302,280	
	公益目的事業費	301,421	294,549	314,634	298,847	300,297	
	収益事業費	0	0	0	0	0	
	管理費	1,951	2,330	1,924	1,919	1,983	
当期経常増減額		16,246	10,689	-15,225	-6,361	1,746	
収益合計		336,435	308,755	310,846	303,551	308,765	
費用合計		303,403	296,879	316,558	300,766	302,280	
	人件費	215,975	205,749	223,355	210,589	204,329	
当期一般正味財産期首残高		255,678	288,710	290,586	284,874	286,432	
当期一般正味財産期末残高		288,710	290,586	284,874	286,433	292,917	
当期一般正味財産増減		33,032	11,876	-5,712	1,559	6,485	
当期指定正味財産増減		0	10,000	0	0	0	
貸借対照表	資産	流動資産	53,112	51,473	44,062	49,829	38,037
		固定資産	375,134	395,373	391,577	379,100	380,416
		資産合計	428,245	446,845	435,640	428,929	418,453
	負債	流動負債	37,915	37,787	43,403	48,073	32,667
		固定負債	98,620	105,473	94,363	81,423	79,868
		負債合計	136,536	143,260	137,766	129,496	112,535
	正味財産	基本金	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		当期正味財産増加額	33,032	11,876	-5,712	1,559	6,485
		正味財産合計	291,710	303,586	297,874	299,433	305,918
	負債・正味財産合計		428,245	446,845	435,640	428,929	418,453
市の援助・市費受入状況	補助金		131,028	122,000	122,000	115,400	115,400
		事業費	131,028	122,000	122,000	115,400	115,400
		管理費	0	0	0	0	0
	交付金		0	0	0	0	0
	負担金		0	0	0	0	0
委託料（指定管理料含む）		0	0	0	0	0	
安全性	自己資本比率		68.1%	67.9%	68.4%	69.8%	73.1%
	流動比率		140.1%	136.2%	101.5%	103.7%	116.4%
	固定比率		128.6%	130.2%	131.5%	126.6%	124.4%
	固定長期適合率		96.1%	96.7%	99.8%	99.5%	98.6%
	経常比率		105.4%	103.6%	95.2%	97.9%	100.6%
効率性	管理费率		0.6%	0.8%	0.6%	0.7%	0.7%
	人件费率		67.6%	66.9%	74.1%	71.5%	67.2%
自立性	市への財政依存度		38.9%	39.5%	39.2%	38.0%	37.4%
収益性	総資本経常利益率		5.6%	3.7%	-5.3%	-2.2%	0.6%
その他	公益目的事業比率		99.4%	99.2%	99.4%	99.4%	99.3%
	収益事業比率		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%